

議会だより

2025
No. 54

令和7年
2月1日発行

議員が編集した、まんのう町民と議会をつなぐ広報誌



今回の定例会



再生と成長の年に

— 大宮神社 —

令和7年	
まんのう町議会議員 新年の決意	2
12月定例会	3
委員会報告	7
いっぺん来てつか 議会報告会	10
委員会研修報告	12
8人が町の考えを問う 一般質問	15
まんのう町の春夏秋冬	20



2月バージョン
まんテンちゃん



まんのう町議会
ホームページ

住みやすい町づくりを目指して

<https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>



川原 茂行



昭和・平成・令和に
生きる我が人生



永寿嘉福
えいしゅかふく

た一年でありますよう、心よりお祈り
申し上げます。
本年も責務を果たすため議員一丸と
なって議員活動に邁進して参ります。
まんのう町議会副議長
川西 米希子

新春を寿ぎ謹ん
でご挨拶を申し
上げます。
皆様にとって、穏
やかに幸福に満ち

大西 樹

議員一同深くお礼申し上げます。
本年も未来に向けたまちづくりを実現
するため議会としても引き続き、皆様
と共に歩んでいく決意でございます。
まんのう町議会 議長



新春万福
しんしゅんまんぷく

輝かしい新春を迎
え心からのお祝い
を申し上げます。
平素よりの温かい
ご支援とご理解に



白川 正樹



天網恢恢
疎にして漏らさず



白川 皆男



最善を尽くす



松下 一美



一期一会
出合いを大切に
常に一意専心で頑張っ
てまいります



大西 豊



町民の皆様の声に耳を
傾け、住み良いまんの
う町のために頑張ります



京兼 愛子



平和共存
今年も誠心誠意
頑張ります



竹林 昌秀



住民本位で
本分の発揮



三好 郁雄



笑う門には福来る



合田 正夫



終始一貫
日々頑張ります



真鍋 泰一郎



歩歩是道場
いつでもどこでも
修行の気持ちで



石崎 保彦



善負己由
自分に起こることは、
全て自分の日頃からの
思考と言行の現れ



鈴木 崇容



揺るがない信念
周りに左右されず決して
変わらない自分の考えや
思いを持つ



常包 恵



一期一会
出合いを大切に
感謝の気持ち忘れず

令和6年12月定例会

開催期間

12月3日～12月17日（15日間）

町一般会計補正予算(案)(第4号)

町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)

町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第1号)

町介護保険特別会計補正予算(案)(第1号)

町下水道事業会計補正予算(案)(第1号)

町課設置条例の一部改正

町職員の給与に関する条例の一部改正など

15議案の審議を行い、原案通り可決した。

令和6年

12月定例会

即決案件

【議案第1号】

専決処分の承認

町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に衆議院議員総選挙費1882万8千円を追加し、予算の総額を120億6521万1千円とした。なお、全額県支出金である。



【議案第3号】

町職員の給与に関する条例の一部改正

(給与・期末・勤勉手当等の改正)

【議案第6号】

町一般会職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

(給与表の改正)

議案第3号、第6号は、香川県人事委員会勧告に基づき改正した。



【議案第4号】

町特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する条例
の一部改正

(町長・副町長・教育長の期末手当率の引き上げ)

【議案第5号】

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(期末手当率の引き上げ)

議案第4号、第5号は、人事院勧告の趣旨等を踏まえ改正した。



【議案第7号】

町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い条項
ずれの改正を行った。



【議案第10号】

香川県中部ポータルレース事業
組合規約の一部変更

字句の変更で「組合長」を「管理者」に
「副組合長」を「副管理者」に
改めた。



付託案件

教育民生常任委員会

【議案第9号】

町公民館条例の一部改正

四条公民館の多目的ホールと琴南公民館の大ホールの使用料金に1時間単位の料金体系を追加し、琴南公民館については、大ホール以外の部屋を他の公民館と同額の使用料に統一する改正を行った。

主な質疑と答弁

▼使用時間

【委員】施設を使用する際に準備や片付けに要する時間は、使用時間に含めるのか。

【執行部】準備や片付けの時間も使用時間を含むので、予約に際しては注意して欲しい。なお、住民の方の公民館活動については使用料金を減免する。



四条公民館の多目的ホール

【議案第12号】

町国民健康保険特別会計
補正予算(案)(第1号)

事業勘定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億6666万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ21億9666万1千円とした。また、直営診療所内科の歳入歳出それぞれに140万円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ6460万円とした。



【議案第13号】

町後期高齢者医療特別会計
補正予算(案)(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、1111万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ3億8111万3千円とした。



【議案第14号】

町介護保険特別会計補正
予算(案)(第1号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億2162万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ28億6562万7千円とした。

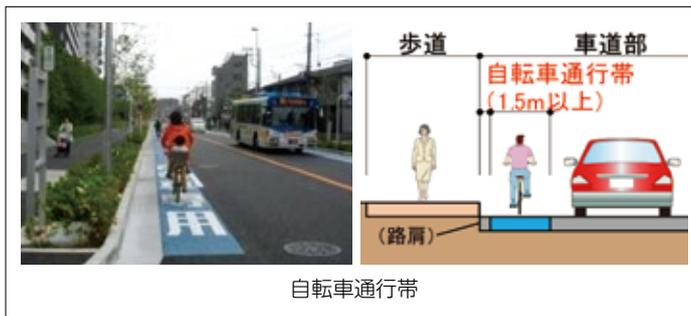


建設経済常任委員会

【議案第8号】

町道路の構造の技術的基準及び道路に設ける道路標識の寸法に関する条例の一部改正

国土交通省の自転車に関する道路構造令の改正に伴い、町の条例の一部を改正した。主な内容は、車道に1.5m以上の自転車通行帯を設置し、自転車関連の交通事故数の減少などを図るものである。



自転車通行帯

出典：地域ニーズに応じた道路構造基準等の取組事例 増補改訂版((公社)日本道路協会)

主な質疑と答弁

▼自転車通行帯

【委員】今でも歩道が狭い道路に自転車通行帯は設置できるのか。

【執行部】歩道がない場合は、歩道と自転車通行帯及び車道の幅員が確保できるように道路を拡幅する。

【委員】交通事故が発生した町道には、自転車通行帯は設置されるのか。

【執行部】本町には、自転車通行帯の設置対象となる町道はないと推測している。しかし、現状との乖離はあると感じている。

【議案第15号】

町下水道事業会計補正予算(案)(第1号)

令和7年度4月1日から業務委託をする維持管理に係る債務負担行為を設定した。次年度の維持管理業務を委託するための措置である。歳入歳出予算の総額に変更はない。



総務常任委員会

【議案第2号】

町課設置条例の一部改正

令和7年度に予定している機構改革に伴い、総務課の交通安全に関する事務を、地域公共交通計画事務を所管する企画政策課に移管する。

従来、高齢の運転免許返納者は本庁舎2階の総務課で免許返納の申請を行い、3階の企画政策課で「あいあいタクシー」が1年間無料となる手続きをする必要があったが、今回の改正により、企画政策課窓口でワンストップ申請となる。

なお、このほか交通安全母の会事務、交通指導員関係事務、交通安全協会補助金事務、チャイルドシート補助金事務などが企画政策課へ移管する。

▼移管後の業務連携

【委員】交通体系を計画する企画政策課と、道路整備をする建設土地改良課はどう業務連携するのか。

【執行部】国・県・ことடன்・JRからも参加している地域公共交通計画策定に係る協議会に、建設土地改良課も参画しているので、その中で議論している。

主な質疑と答弁

▼住民要望の現地診断

【委員】交差点改良や歩道設置などの住民要望に対応する現地診断も移管事務に含まれるのか。

【執行部】移管事務に含まれ、建設土地改良課と連携して進める。



整備が急がれる踏切 (四条)



安全な歩道設置が進む (長尾)

【議案第11号】

町一般会計補正予算(案)
(第4号)

物価高騰による認定子ども園の

給食材料費の増額、ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)の増額に伴い、返礼品に係る費用の増額などのため、歳入歳出それぞれ2億3931万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ123億452万2千円とした。

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分を事前に審査し、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼給食の材料費

【委員】各子ども園の給食材料の価格高騰により、予算不足が見込まれるため、材料費を増額してい

るが、給食の今後の運営を、どう見通しているのか。

【執行部】材料の物価が高騰しているが、地元生産者の協力により運営に支障は出ていない。

▼ヘルメット

【委員】新4年生に配布するヘルメットは、デザインを変更したもののなのか。



スポーツタイプに変更 安全性もバッチリ

【執行部】本年より、通気性の良いスポーツタイプに変更し、サイズも選択できるようにした。

なお、本事業は総務課所管であったが、事務の効率化から、学校教育課へ移管した。

《建設経済常任委員会関係》

▼道路の維持管理

【委員】道路維持管理費の増額理由は何か。

【執行部】今年度は、豪雨や平均気温が平年に比べて高いなどの異常気象が続き、例年以上に草刈り等の作業が発生したこと、草刈り業務に従事する作業員が減少したことが要因である。

▼作業員不足

【委員】道路の維持管理に従事する作業員不足にどう対応するのか。

また、建設土地改良課職員が作業にあたっていることがあるが、通常業務に支障はないのか。

【執行部】通常業務に影響があることは承知している。今後は、作業員確保にかかる費用について検討し、町内の業者に依頼する。



きれいに管理している道路

《総務常任委員会関係》

▼町税収入

【委員】現時点で、町税収入をどう見込んでいるのか。

【執行部】定額減税により、町民税は減収すると思われるが、その他は前年並みを見込んでいる。



教育民生常任委員会 報告

●戦没者追悼式 中学生の参加は 継続するのか

【委員】今年のまんのう町戦没者追悼式に中学生が参加して好評を得たが、今後継続するのか。

【福祉保険課長】今回は教育委員会・満濃中学校の協力



中学生参加による「平和への願い」

で参加となり、ボランティアとして高齢な遺族の方へ献花の手伝いや階段での介助等を行い喜ばれた。継続については、学習カリキュラム等の負担も掛けるので、教育委員会・満濃中学校と相談して考える。

●介護認定調査

■申請受理の状況は

【委員】介護認定調査事業において、各申請件数の全てが受理されている。これは民生委員や職員のフォローが十分に機能しており、必要かつ適正なものが申請に至ったということか。

【福祉保険課長】窓口においてケアマネージャー等によって、様々な相談や調査を経て認定調査員が訪問するので、結果的に適切な申請が上がってくる状態にある。

●生徒会役員選挙

■選挙制度への関心は

【委員】満濃中学校で生徒会の役員選挙を行っているが、この年代に選挙制度に関心を持つてもらうのによい機会と思うが、学校・生徒・保護者からの声は届いているか。

【学校教育課長】国政選挙に使用する投票箱を用い、選挙管理委員も生徒から選出し、立会演説や、マナーの通知を行い、選挙への理解を深めている。

●健康保険証

■資格確認証の発行

【委員】11月の広報まんのうに、国民健康保険・後期高齢者保険の保険証が廃止され、資格確認証発行に関する案内があったが、保険料未納者にも、資格確認証は発行されるのか。

【福祉保険課長】健康保険の保険料未納者にも、資格確認証の送付は行う。マイナンバーに変わることにより、未納者に対して発行していた短期証が無くなるが、この取り扱いについては、国からの指示を待つことになる。

●琴南公民館

■吊り天井撤去後は

【委員】琴南公民館の吊り天井撤去後、むぎ出しの鉄骨が見える状態にあるが、地元住民へ説明をして欲しい。

【総務課長】地震の際に吊り天井落下の危険を除去するために撤去したもので、ここへ新たに天井等を設けることは、撤去前と同様の危険を招くことになり、基本的に何も設けないことにしている。この点をどうご理解いただくか検討する。

●健幸塾

■他の地区での開催は

【委員】かりんセンターと吉野公民館において行っている健幸塾は、他の地区では開催しないのか。

【健康増進課長】年間での開催回数とプログラムを計画して、参加希望者を募集し、開催場所を選んで開催している。

香川県	川 県	有効期限	令和 7年 7月 31日
国民健康	健康保険	番号	0123456 (枝番) 01
資格記号	香川 48	氏名	国保 太郎
生年月日	昭和50年 5月 5日	性別	男
適用開始年月日	令和 2年 3月 4日		
交付年月日	令和 6年 12月 2日		
世帯主氏名	国保 太郎		
住所	仲多度郡まんのう町吉野1 2 3 4 番地 5 6		
保険者番号	370890	交付者名	まんのう町

資格確認証(イメージ)

建設経済常任委員会 報告

●現地調査

11月26日、満濃農村環境改善センター解体工事状況と、有限会社 味源(仲南地区)の工場内の作業を視察した。



●有害鳥獣

■安全な害獣駆除

【委員】有害鳥獣駆除における安全祈願祭を取り計らって欲しい。
 【農林課長】猟友会、また狩猟クラブの方と相談して日程調整をしたい。

●満濃池

■安全を守る防止柵

【委員】農業水路等防災減災対策事業満濃池転落防止柵の施工箇所はどこか。
 【建設土地改良課長】堤頂の水面側などに施工する。



工事が進む防止柵

●商品券事業

■物価高騰対策の支援は

【委員】令和7年度も、地域応援商品券などの住民支援を考えているのか。
 【地域振興課長】国からの

補助等があれば、今年度のような支援を検討したい。また、ない場合も10%のプレミアム商品券は継続したい。

●ものづくりセンター

■低迷するひまわり収穫状況

【委員】ものづくりセンターの売り上げが落ちているが、今年度のひまわりの収穫状況と生産者等との協議報告は。

【地域振興課長】今年度のひまわりの収穫状況も非常に厳しく、数量も5トン弱と少ない、また生産者も今の助成金額では厳しく、ひまわり振興協議会で、5年以上継続の生産者には、一反あたり50キロ以上の収量があれば1万5000円の加算をする事と決定した。



●ひまわり製品

■製品各種のロス対応策は

【委員】ひまわり製品の売り残り等はどのように処理しているのか。

【地域振興課長】オイルは生産数量を決めて抽出してい

るため売れ残りは少なく、ひまわり焼酎は大量生産するが長期保存ができ、ひまわり石鹸も特殊なコールドプロセス製法で生産しており、状況によって追加生産している。現状では、どの製品も在庫が余り困っている事は無い。



ロスのないひまわり製品

総務常任委員会 報告

●現地調査

仲多度南部消防本部にて購入した消防指揮車の説明を受けた後、町消防団第14



消防指揮車と第14分団屯所用地

分団(宮田・佐文)屯所用地と「道の駅たからだの里さいた」を現地視察した。



●「103万の壁」問題

■ 税収への影響は

【委員】衆議院議員総選挙の争点の1つとなり、政党間で議論されている「103万の壁」問題の引き上げが実施された場合、本町税収への影響はどのくらいか。

【税務課長】令和5年度の課税所得実績で試算した場合、住民税は約2億7千万円の減収となり、個人住民税と法人住民税の歳入決算額の約3分の1に相当する。また、地方交付税は約1億700万円の減収となる見込みである。

●大規模停電

■ 電波事情の改善を

【委員】8月末に約8時間に及ぶ大規模停電があった際、もともと携帯電話のつながりにくい地区では、家族と連絡が取れない家庭もあったと聞く。住民の防災・安心・安全の観点から、アンテナ設置など電波事情の改善を働きかけてほしい。

【企画政策課長】携帯電話などのエリア整備調査があるので、それを基に県を通じて国に要望する。

●地域公共交通

■ 各事業の棲み分け

【委員】コトバスマXのmob(モビ)事業のエリアが四条・高篠地区にも拡大し、利用者が増えているように感じる。一方、あいあいタクシー利用者は減少しているが、住民の利便性向上のために今後の棲み分けをどうするのか。

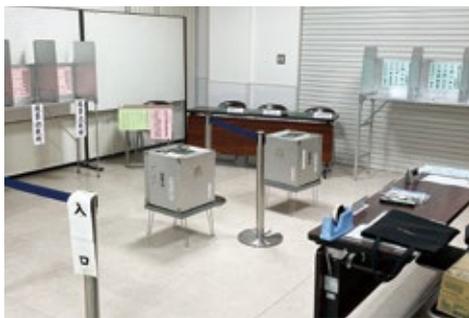
【企画政策課長】タクシー事業者3社と協議したが、山間部などの方のためにもあいあいタクシーを残していきたい。また、町内でももう1台モビを運行したほうが利便性も上がるのではないかと、という意見もあったが、導入にあたってはどのような補助をするのかを琴平町とも調整が必要なので、あいあいタクシーの運行形態も併せて、来年度の地域公共交通計画の協議会で協議する。

●衆議院総選挙

■ 期日前投票所(琴南)

【委員】仕事帰りの方が利用できるように午後5時以降も開設してはどうか。

【総務課長】選挙管理委員会と協議する。



琴南支所に初開設

●機構改革

■ 住民目線の改革を

【委員】12月定例会に提案予定の機構改革案は、今回だけなのか。それとも改革の第一弾なのか。

【総務課長】福祉保険課と健康増進課などのワンストップ窓口の実現に向けて、今後数年間かけて住民目線の機構改革をしていきたい。



琴南総合センター

ご参加いただきました住民の皆様と子育て・防災・農林業・若者定住・自治会・町財政等について、活発な意見交換を行うことができました。議会報告会(意見交換会)の内容につきまして、一部ですがお伝えをいたします。皆様からいただきました貴重なご意見等は全議員で共有し、今後の議会活動にいかしていきたいと思っております。議会報告会にお越しくださりました住民の皆様、本当にありがとうございました。

もっと身近な議会に!

いっぺん来てつか!



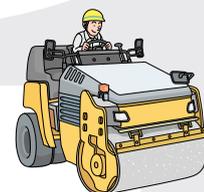
11月17日(日)・19日(火) 町内6会場におきまして、68名の住民の皆様にご参加いただき、議会報告会(意見交換会)を開催しました。



長炭公民館



高篠公民館



国道438号線

陳情書を出しているが、道路整備はどうなっているのか。

【議員】国道438号線の整備については予算の関係で、まんのう町で3工区ずつ進めていると聞いています。議会報告会で道路整備に関する強い要望が出されたことを、担当課にお伝えします。

子ども課の新設

町には子育てに関するワンストップ窓口がない。議会において、6年前に子ども課設置を求める一般質問があったが、いまだ実現していない。県内の全ての市といくつかの町には、子ども課もしくは子育て支援に関する課がある。まんのう町にもそういった課の設置ができないか。



【議員】子ども課の設置やワンストップ化には機構改革(課の再編)が伴います。また、学校教育課・福祉保険課・健康増進課といった場所が離れている課を再編するとなると、庁舎内の場所の確保の問題もあり時間がかかります。議会においても、住民目線で分かりやすい窓口の設置は重要な課題と捉えており、人員の配置や拠点の整備等が必要であると考えています。



吉野公民館

*議会報告会(意見交換会)の内容につきましては、町ホームページからもご覧いただけます。各公民館には、冊子にしてお届けさせていただいております。

仲南振興公社

仲南振興公社の経営悪化は以前から続いている。経営陣に町の補助金ありきの考えがあるのではないか。また、公社職員の異動が激しく定着性も無い。接客にも懸念がある。今後をどう考えているのか。



【議員】温泉・産直の個々の問題もありますが、総合的に見た公社の運営・経営を考えなければならぬ時期であることは認識しています。なお、道の駅先進地との提携により、公社職員への研修をしたり、運営や商品陳列のアドバイスを受けたりしています。



仲南公民館

町ホームページ

まんのう町のホームページは魅力がないし、おもしろくない。そして、どこに何があるのか検索しづらい。早急に何とかしてもらいたい。

【議員】今年度中にホームページのリニューアルが予定されています。

資源ごみ収集

当番制が負担になっている。そもそも、この時代に収集事業を町が行わなければならないのか。

【議員】どの自治会も高齢化や加入率の低下で、当番の運営方法には頭を悩ませている状況であると思いますが、議会としても様々な課題解決に向けて調査研究に取り組み、執行部に意見をしております。

議員定数

- ◆他の市町の議会では議員定数削減の話があるが、まんのう町議会としてはどう考えているのか。過去に議員定数削減の議案が否決されていたが、もう一度、議員定数削減を考えてほしい。
- ◆議員の数を減らせればよいとの考えには反対である。各地域に議員は必要だと思う。闇雲に減らせれば良いというものではない。現在の議員定数は人口に合わせた適正な数であり、他に比べて多いとは思わない。
- ◆議員定数が少なくても、議員一人一人が見識を広めていけばいいと思う。

【議員】住民の意見として承り、議会の中で検討します。また、議員個人がしっかりと勉強し、資質向上に向けて研鑽を積んでまいります。



四条公民館

ご要望につきましては、議会より執行部にお伝えさせていただきました。

新聞を活用した授業「NIE活動」への取り組み

令和6年11月6日(水) 兵庫県 西宮市立浜脇中学校

浜脇中学校(生徒数840名/満濃中学校生徒数471名)は、教育課程・学校教育目標に、授業に新聞を活用する「NIE活動」を掲げ、社会とつながる個と集団の育成に向け、生



NIE授業風景

徒たちに現代的な課題に向き合うスキルと態度を育み、地域や社会につながる機会を提供している。さらに、活動を通し、社会全体を多面的・多角的に考察し、他者と対話する中で、国連の持続的可能な開発目標SDGsの11番目「住み続けられる街づくり」を地域のテーマとして取り組んでいる。まんのう町も多感な中学生にこういった教育に力を入れ、社会に力強く出て行ける若者を育成し、地域社会の担い手づくりを行いたい。

※NIE：Newspaper in Educationの略称。学校などで新聞を教材として活用したり、新聞作りを行ったり、メディア・リテラシーを学ぶ世界的な活動。

教育力日本一をめざす「保・幼・小・中一貫教育」

令和6年11月7日(木) 大阪府豊能町

豊能町は、人口17999人、世帯数8665大阪府都心より30km北部に位置し、人口減少は国や大阪府をはるかに上回るスピードでの減少が予測される。中学校2校・小学校4校の適正配置検討の中で、地域住民の理解を得て「保・幼・小・中一貫教育」に取り組み、令和8年4月に2校の義務教育学校を誕生させる計画が進行中だ。

本町も将来の人口推移と、6つのこども園・小学校における生徒数の推移を考えると、文科省の打ち出した「適正配置」につい

て、検討準備委員会等の設置を行い、本町に合った、児童・生徒と住民が元気に過ごせる、こども園と小学校の適正配置を考えねばならない。



研修風景

森林基礎情報のデジタル化・森林DX推進事業

令和6年11月12日(火) 島根県安来市

建設経済常任委員会による、島根県安来市の視察では

- ①航空レーザー計測により森林資源情報の解析
- ②解説データを県の森林クラウドに搭載し安来市と共有
- ③人工林資源の充実とUAVレーザー（ドローン地上3次元測量技術）の計測

について説明を受けた。これまで不正確だった森林簿情報は、航空レーザー、リモートセンシング技術（物を触らずに調べる技術）の活用により格段に効率的な境界確認作業でき、更には境界測量等プロセスの高度化



を実現し、時間や手間の大幅な削減等、集約化に大きくつながっていた。

今後、本町においても森林基礎情報のデジタル化、森林DX推進事業を積極的に進め取り組んでいきたい。

林業の成長産業化

令和6年11月13日(水) 山口県長門市

2日目、建設経済常任委員会の山口県長門市の視察では、平成29年度から林野庁の補助事業を活用した林業・木材産業の成長産業化への取り組みについて説明を受けた。

長門市は林業・木材業の発展と森林所有者への利益還元を考え「長門市林業成長産業化地域構想」の概要を創った、令和2年7月



には、長門市内の関係者が出資をして「一般社団法人 リフォレながと」を立ち上げ、

- ①素材生産量の拡大、施業の効率化、低コスト化
- ②担い手の確保・育成
- ③需要の確保・拡大

と、新たな流通販売体系の確立に関する事業を地域林業の司令塔として担っていた。

今後はICT機器を使い境界明確化、立木評価、生産計画、再造林、有害対策と森林管理を行いつつ核となる組織を中心に課題解決や林業振興の成果を上げていく方針。本町においても組織づくりの体制に力を入れていく。

「知恵がないなら借りれば良い」住民のアイデアを求めて

令和6年11月6日(水) 鳥取県智頭町(百人委員会・疎開保険)

【百人委員会】

智頭町には「百人委員会」という組織がある。住民の関心が高い課題を、7つの部会(商工・観光・林業・教育・文化など)に分かれて話し合い、町行政に政策提言するという取り組みである。採択されたものは実際に予算化・事業化されている。また、平成27年度からは中学生・高校生部会も発足されている。そして、この百人委員会をきっかけに町議会議員への道を進んだ方もいるそうで、人材発掘・育成にも効果があるように感じた。「知恵がないなら借りれば良い」という町行政の柔軟な発想と、それを受け止め協力する住民との関係性が非常に素晴らしい。人口6172人の智頭町ではあるが、他の自治体に負けない元気を感じた。



【疎開保険】

災害の少ない土地柄を売りに、都市住民の災害避難を受け入れ、宿泊場所と食事を提供するという取り組みが、「疎開保険」であり、災害がない場合は地域特産品が加入者に届けられるという取り組みである。また、加入者に対する疎開体験ツアーを実施し盛況であるとのこと。

現在まで疎開の受け入れ実績はないが、この事業は加入者を増やすことが目的ではない。地域特産品の開発や、疎開体験ツアーによる交流人口の増加である。智頭町において人口減少は避けられないが、関係人口増加への取り組みとして意義あるものと感じた。

本町も人口減少の状況にあるが、明るい未来の為に、住民の「まちづくり」に対する意識の醸成が肝要と感じた。そのために議会として何ができるのかをしっかりと考えていきたい。

「自考・自行・共助・共創」の自治組織

令和6年11月7日(木) 兵庫県朝来市(与布土地域自治協議会)

朝来市では、概ね小学校区単位に地域住民が組織する地域自治協議会がある。中でも、今回視察をした与布土地域自治協議会は、「過疎地域持続的発展優良事例表彰」において「総務大臣賞」に輝き、全国より多くの視察を受け入れている。そんな与布土地域は、10集落・480世帯・人口約1100人の農村地域であり、訪れた際の風景は本町と変わらぬ風景だった。

与布土地域自治協議会は、少子高齢化・農業経営不振の状況を何とかしようと、まちの宝物・課題を知り、自分たちにできることを考え、自分たちで解決するシステムを考えるための住民座談会を開催したことからスタートした。その中、まちづくり計画を作成し、各種部会を作り様々な活動を進めると共に、自主財源の確保にも努めている。

また、耕作放棄地対策として一般社団法人を設立し草刈りなどの農地管理を行うほか、特産品の開発や田舎暮らし体験会も行っている。財源とし

ては、多面的機能支払い交付金事業や、国・県の補助金の活用だけでなく、廃校の屋根を利用した太陽光発電事業も行っている。

しかし、耕作放棄地の拡大、空き家の増加、関係人口の創出、次世代の後継者の課題となっているとのこと。

本町においても、地域の課題を具体的に解決するための組織づくりが急務であると感じた。それには、自治会だけでなく、PTA・老人会・社協・事業者など多くの団体・住民と一緒に取り組まなければならない。そして、人材発掘をし、確実に次世代へつなぐことが、本町の未来に必要なと思う。



議員が町の考えを問う!

町議会
ホームページ



一般質問は、議員が町政全般について

現状や方針を問うものです。

これに対し、町は今後の事業の進め方や

問題解決のための考え方を答えます。



12月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ(議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>) に掲載していますので、ご覧ください。

一般質問の記事原稿は、質問した議員の責任において執筆しています。

鈴木 崇容

- 子どもの遊び場 (KIDS・PARK) 施設と環境整備は
- 24時間対応のリサイクル捨てーションを町内に

16p

竹林 昌秀

- 民生の諸計画の実績トレースをどう行っているのか。事務事業の評価となり、予算編成に生かす運用を求める。
- 道の駅、産直市、温泉や簡易宿泊所のような集客と収益性を発揮する施設は、合併後全く増築や改修とかのリニューアルを行っていない。この中長期の推進構想を問う。
- 満濃池の史跡指定、特別天然記念物コウノトリの飛来や綾子踊のユネスコ無形文化遺産登録の本町にとっての意義をどう考えているのか。

16p

川西 米希子

- 保育ソーシャルワーカーの導入・SSWの増員
- 居宅介護住宅改修(介護予防住宅改修)の受領委任払制度の導入
- 带状疱疹予防ワクチン接種助成

17p

白川 正樹

- 防犯カメラ

17p

石崎 保彦

- まんのう町の地域おこしへの提案

18p

常包 恵

- 新年度(令和7年度) 予算編成
- 満濃池に町内外から呼び込む

18p

真鍋 泰二郎

- 資源ごみ収集による利益

19p

川原 茂行

- 農林業振興 (補助事業関係)

19p

屋内施設

問

幼児達の屋内施設、建設は



すぎき たかひろ
鈴木 崇容
議員

住民の利便性を
第一に

答

9年度まで大規模な事業がある、その後慎重に判断する

鈴木 幼児向けの屋内施設や複合施設は本町にはない。9年度まで大規模なハード事業があるのならばその後、屋内施設や複合施設の建設を願う。また、それまでの間に既存の公共施設を有効活用しソフト事業として、子どもの遊び場を提供して欲しい。

町長 町内には利用者の極端な低下により児童館を廃止しており、子ども達が安心して遊べる施設と言えば、かりんの丘公園、公民館、琴南活性化センターなどがある。ただ、雨が降った場合の屋内施設となる公園や町有施設はない。少子高齢化の現状を踏まえ大規模な事業が終了後、検討していく。

資源ゴミ

資源ゴミを
何時でも捨てる
対応を

鈴木 近年、インターネットでの買い物をする方が多いため、ダンボールやその他の資源ゴミが家庭内で多くなり近隣のリサイクルステーションに捨てに行く方が増えている。また、資源ゴミの当番制も問題になっていて、苦痛に感じている方が多い。いつでもどんな時間でも対応できる、捨てる、24時間対応のリサイクルステーションを町内に設置できないか。

町長 設備整備費が比較的安価であり、無人であるために人件費が不要のうえ、悪臭も無く利用する住民にとっては、勤務状態に影響されず、自治会への加入・未加入者も関係なく利便性や生活環境衛生の向上も期待できる。需要も見込めるため取引している民間業者に声掛けをする。

問

資源ゴミを
何時でも捨てる
対応を

答

民間業者が数社あるため、声掛けを行う

民生の諸計画

問

町政と成果報告に
載せてはどうか



たけばやし まさひで
竹林 昌秀
議員

実績のトレースで
改善しよう

答

PDCA サイクルの毎年評価で

一、民生の諸計画の実績トレース

竹林 手法と日程を問う。

町長 地域福祉・活動計画は令和10年度まで、健康やかいきぎプランは令和8年度まで、子ども子育て支援事業計画は令和11年度まで、高齢者福祉・介護保険事業計画は令和8年度までを策定して、毎年実績評価し、町ホームページに載せる。介護保険計画は、厚労省の見える化システムを、国民健康保険は「データヘルス計画」を反映して行う。

竹林 例えば、高齢者福祉では105もある。実施項目から、選択して検証できぬか。

町長 どれも重要な事業であり、国から課せられていたり、県下共通の経年評価するものもある。

二、集客・収益施設の魅力の向上へ

竹林 集客と収益性を発揮する施設のリニューアル計画を問う。合併以来手つかずだ。魅力を上げたい。

町長 指定管理期間に照らして、これから総合的に検討する。修理はその都度行っている。

三、文化資源の活用

竹林 町の文化財保存活用計画の策定を求める。

町長 令和7年度に、策定着手する。

竹林 獅子舞やお神楽を町指定するように、法令改正に沿った町条例の改正を求める。

教育長 未指定の把握を行い、保存活用団体の指定も調査して、例規改正の方向性を検討する。



塩入温泉

介護予防住宅改修

問

受領委任払制度
(町から事業者への直接支払い)の導入を

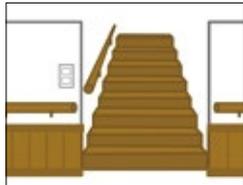


かわにし まきこ
川西 米希子
議員

住宅改修で
使い勝手を良くして
安心・安全

答

前向きに検討する



川西 高齢化が進む中、介護保険を適用して介護状態になることを予防する事業は重要である。利用者の経済負担を軽減し、利用しやすくできないか。

町長 本町では自宅で転倒し骨折するケースが多いため、手すりの取り付け等の住宅改修は介護予防の有効な手段だと思ふ。既に実施している市町を参考に前向きに検討する。

問

予防ワクチンの
接種助成を

答

国が実施する
定期接種に向けて
準備を進めていきたい

带状疱疹



施する定期接種に向けて準備を進めていきたい。

川西 国ではワクチンの安全性等を確認し、定期接種化は差し支えないと結論づけた。しかし定期接種がいつ実施されるかは決まっていない。町独自で、発症率が高くなる50歳以上と感染リスクの高い18歳以上の希望者に接種助成はできないか。

町長 国において定期接種に向けた議論がなされていることから、国が実施する定期接種に向けて準備を進めていきたい。

防犯カメラ

問

公共施設の設置状況は

答

こども園、満中、高篠・仲南小学校は完了



しらかわ まさき
白川 正樹
議員

個人住宅の設置に
補助金を

白川 防犯カメラが付いていないが、設置したほうが良いと思う場所として公園・学校・駐輪場などの子どもだけで行動することが多い場所、人気がない暗がりなどが考えられる。プライバシーの観点から問題があるとの意見を聞くが役場などの公共施設は不特定多数の方が訪れる。住民や職員の安心・安全のため設置が望ましいと考えるが。

町長 町内全てのこども園は設置が完了。満濃中学校、高篠小学校、仲南小学校は設置済。長炭小学校、満濃南小学校、琴南小学校、四条小学校はまだ設置出来てないが子どもたちの安全を守るという観点から設置を

検討する。本庁は1階のロビーや窓口、屋外に合計10台設置。美合出張所、琴南未来活性化センター、リサイクルセンターに設置している。

白川 個人が住宅に安心・安全のため設置する場合の補助金は。

町長 現在、香川県が実施している香川県防犯カメラ設置補助事業は対象となるのが県内の市町村及び自治会等である。個人や企業は対象外である。しかしながら最近の情勢を考えると設置需要はますます高まっていくのではないかと。近隣市町を対象とする補助金も検討したい。



庁舎内の防犯カメラ

我が町の地域おこし

問

空き家と農地の
再生活用による地域おこしを

答

豊かな自然と空き家を資産として活用し、地域振興に尽力する



いしぎき やすひこ
石崎 保彦
議員

空き家と農地で
地域おこし



石崎 「空き家と農地の再生活用」を結び付けた「まんのう町地域おこし」を提案する。空き家活用は「さぬきの真ん中・民家で寛ぐ」というコンセプトで町内各地域に点在する空き家の何軒かを「ゲストハウス民家」とし、町内に滞在しながら「周辺観光」「農業・林業の体験」を行う「周遊型・体験型観光」の滞在拠点とする。

農地の活用は、仕上がった地域計画地図で「遊休農地・耕作放棄地」となった土地を児童生徒が自分たちのほ場として自由に活用する地域学習の一環としても面白い。家庭菜園や畑としての貸し出し、地元に馴染む広葉樹や果樹の植林で収穫祭のイベント、当然、観賞用ヒマワリ・レンゲ・コスモスもいい。四季折々まんのう町をパッチワークの様に彩り、この風景を発信して観光客の増加や転入者に繋げたい。

資金は、観光庁、農水省の地域活性化に関する支援施策で当町に合うものを活用すればいい。

町長 具体的な事業スキームを提言頂いた。中山間地域にあるまんのう町において、観光振興を含めた地域の賑わいづくりに、空き家と農業は重要な要素である。現在、地域おこし協力隊員らが協力し、空き家を拠点としたイベントや農業をテーマとしたワークショップに取り組んでいる。今後、も豊かな自然と空き家を資産として活用し地域振興に尽力する。

満濃池

問

町内外から
大勢呼び込むしかけを

答

現代版「池見」の再現を目指す



つねかね めぐみ
常包 恵
議員

桜、紅葉、
月見の名所に



ウッドデッキ修繕中
(かりん会館)



水面が見えない周遊道

常包 県外の人の認知度は低い。町を紹介するとしても「金毘羅さんの隣」となる。満濃池の売り、PRポイントを作る必要がある。桜、紅葉、月見の名所として育てていけないか。

少しでも長く滞在してもらうように、車、観光バスはかりん会館駐車場に駐車していただき、かりん会館から、かりん亭、神野神社、周遊道散策、神野寺と人の流れを作ってはどうか。堤防は遊歩道として、月見の宴などを企画できないか。

また、池が見えるように周遊道のツツジ、雑木の刈込、撤去を求め、今年3月策定された整備基本計画では、かりん会館の位置づけが低く利用者が増えていく展望が描けない。

教育長 江戸時代から池見（いけみ）という風景を楽しむ伝統があった。歴史理解を促進するため、ガイダンス施設の整備、風景・安全性の向上を目指す。景観向上のために、特に風致景観に優れる視点場（してんば）周辺において、樹木などの一部伐採整理を実施していく。かりん会館とほたる見公園の駐車場を起点とし、多くの見どころを築きめるよう周遊動線を整備していく。

かりん会館については、庁内関係課及び関係機関と協議を行っていく。

資源ごみ収集



まなべ たいじろう
真鍋 泰二郎
議員

収集に対する意識を変えよう

問

資源ごみ収集に目的・目標を示してはどうか

答

意識の向上や参加率の増加が期待できる

ではない。
では自治会への還元は考
えていない。

。

期待できると考えてい

町長 昨年度の利益は400万円を超えたが、引取りの際の単価は不安定である。また、本町にある全ての自治会に平等に還元するためには、計量作業や振込手数料などが新たに追加され、その費用が年間収益を上回る可能性もある。現時点では自治会への還元は考

真鍋 資源ごみ収集による利益は住民有志の努力によるものであり、住民（自治会）に還元すべきものではないか。
町長 「100万円を子育て支援に使いました」など、収益や成果を地域社会の具体的ニーズに結び付けることにより、住民が「地域に貢献している」と実感することで、意識の向上や参加率の増加が期待できると考えてい



林業振興



かわはら しげゆき
川原 茂行
議員

森林整備に新たな財源を

問

財源無くしては、どうにもならない

答

事業実施のための財源が必要と考える

用していく。

町長 担い手支援施策は、新規就農者育成総合対策等、有効な制度を利用していく。

川原 森林業従事者の高齢化や担い手不足による管理不足が森林整備を取り巻く社会の環境に大きく変化を与え、多くの課題を抱えている。また、森林の持つ多様な機能を持続的に保全していく事を考えれば、今後の長期的な森林環境譲与税の活用では対応できかねる。他に新たな財源、基金の積立を行い、充実した森林整備ができないか。

また、新たな財源としては、森林整備促進基金などが考えられるが、その使途は議会と相談を決めていきたい。いずれにせよ、事業実施のためには財源が必要である。





#人と自然が輝くまち

Magazine Photo Gallery

大川山から望む四国山脈



光のファンタジー
国営讃岐まんのう公園(吉野)



美霞洞温泉公園へ続く遊歩道
(川東)



迎春の準備
加茂神社(佐文)



あとがき

委員 川西 米希子

昨年11月、「第16回議会報告会(意見交換会)」を開催いたしました。

今回発行の『議会だより』では、当日いただいたお声の一部を掲載しています。なお各公民館に置いてあります『議会報告会まとめ』の冊子、およびインターネットでは、その他のご要望やご意見等もご覧いただけます。

令和7年は、十二支でいうところの「巳(みへび)」年にあたります。巳年は「再生や変化を繰り返しながら、柔軟に発展していく年」ともいわれます。『議会だより』も、より良く変化させながら「読みやすく、伝わる」を目指し頑張っております。



議会広報特別委員会

- 〈委員長〉白川 正樹
- 〈副委員長〉真鍋 泰二郎
- 〈委員〉川西 米希子
- 〈委員〉竹林 昌秀
- 〈委員〉鈴木 崇容
- 〈委員〉石崎 保彦